

## 県西地域未病資源活用促進補助金を活用した事業

県西地域活性化プロジェクトに基づき、「未病の戦略的エリア」に位置づける県西地域において、民間企業等による地域資源を活用した「未病を改善する」継続的な取組みを促進し、県西地域の新たな魅力に育て上げることで、県西地域の活性化につなげるため、民間企業等が行う事業に要する経費に対して、補助金を交付する。

## (平成29年度「県西地域未病資源活用促進補助金」を活用した事業)

## (事業名称)

## あしがら大井の地酒風呂に浸かる、美肌・心身回復プロジェクト

## (目的)

酒風呂は、身体が温まり、疲労回復・血圧安定・美肌効果に優れた健康増進法であるため、普及拡大を図ることにより、県西地域に残る酒蔵文化の活用と「未病の改善」をあわせて推進する。

## (概要)

- ・「地酒風呂」入浴剤の試作を行うことにより、適した原料（酒粕）の選定、利用しやすい包装素材や包装形態の開発を実施した。
- ・パンフレットの作成や情報誌への掲載を行い、「地酒風呂」と未病改善に関するPRを実施した。
- ・地域産業資源の「酒」を“飲むこと”以外で活用することにより、地酒の需要拡大及び地域の活性化が期待できるものとなった。

## (今後の展開)

- ・本事業により、廃棄していた酒粕を原材料に用いたことや、その使用量及びパッケージ方法などの指標を示すことが出来たことから、今後、蔵元が自ら製品化へ歩みだす可能性が高まった。
- ・販売可能な商品に仕上げるため、品質確認や蔵元との意見交換等により、改善を進める。
- ・酒蔵文化と「未病の改善」を結びつけ、地酒と酒粕入浴剤に関する取組みを連携させることで、商品の価値や認知度を高めていく。

## 大井町商工振興会



(入浴剤試作品)



(情報誌への掲載)

## (平成29年度「県西地域未病資源活用促進補助金」を活用した事業)

## (事業名称)

## 県西地域在住高齢者に対する抗酸化陶板浴と運動を活用した「未病の改善」への取組

## (目的)

今後、県西地域において、75歳以上高齢者（後期高齢者）の増加が見込まれることから、県西地域在住高齢者が未病の改善（健康増進）へ取り組むきっかけを作るため、「陶板浴」、「運動」、「健康寿命の可視化」を実施する。

## (概要)

- ・小田原市のショッピングセンター「ダイナシティ」内の温熱施設「ひだまり」にて、提供中の抗酸化陶板浴事業に付帯して、「未病の改善」の医学的根拠を有する「健康寿命延伸運動プログラム」及び未病に関する身体・精神・心理面を包括評価した「高齢者健康寿命総合評価」を導入
- ・運動プログラムによる健康増進に加え、未病状態（健康寿命）の可視化が図られ、利用者に対する「未病の改善」の普及啓発を効果的に実施
- ・利用者数は、延べ409名（H29.10～H30.2）

## (今後の展開)

- ・利用者の年齢が想定していたものより低く、比較的健康的な方であったため、今後は後期高齢者を対象に募集することで、利用者の拡大を図る。
- ・利用者のモチベーション向上につながる仕組みを構築し、サービスの継続的な利用を推進する。
- ・長期的な運営が可能となるよう、コスト面など事業収支の要素を精査する。

## 株式会社ダイドーフォワード



(運動プログラムの実施状況)

(平成29年度「県西地域未病資源活用促進補助金」を活用した事業)

(事業名称)

地場産食材を使った健康志向の新商品開発事業

(目的)

かながわブランドに登録されている小田原たまねぎ（下中地区を中心生産）、薬用植物である自然薯を活用した商品を開発することにより、消費者の未病改善（健康増進）を図るとともに、地域食材の魅力向上を図る。

(概要)

- ・下中玉ねぎの甘みを生かしながら、自然薯のねっとり感と揚げのサクサク感の2種類の触感を楽しむことができる「下中玉ねぎたっぷりの自然薯揚げ」を開発
- ・玉ねぎと自然薯に魚肉を加えた商品は、他に類似のものがない独自商品
- ・パッケージは下中玉ねぎの利用を示すだけでなく、「未病の改善」もアピールするデザイン
- ・食べ歩きに適した形状とすることで、近隣への回遊を促進
- ・小田原城内でテスト販売したところ、2日間で2,000個を完売（300円/個）

(今後の展開)

- ・食べ歩きに加え、「お持ち帰り・お取り寄せ製品」にも展開することで、更なる地域経済への貢献を図る。
- ・今後、春のイベントでも限定販売を予定する他、将来的には店舗常設化も検討。

株式会社田代吉右衛門本店



(パン粉付け前)



(完成形)

(パン粉付け後)

(平成29年度「県西地域未病資源活用促進補助金」を活用した事業)

(事業名称)

FORESTBIKE フォレストバイク

(目的)

- ・神奈川県内には管理されたマウンテンバイクのコースがほとんど存在しない。
- ・このため、オフロードコースを整備し、コースの利用とあわせて自然の学びも提供することで、県西地域の美しい自然の中で楽しみながら「未病の改善」を図る。

(概要)

- ・小田原市久野・荻窪の里山・森林において、下草刈り、枝打ち、伐根等を行い、基本コース及びテクニカルコースの整備を実施
- ・主に小学校高学年を対象にサービスを提供
- ・専門インストラクターから指導を受けたスタッフが、利用者へマウンテンバイクの乗り方を指導
- ・マウンテンバイクを楽しむ中で、利用者に対して未病の改善や森林の魅力への理解を促進
- ・延べ43人が利用

(今後の展開)

- ・利用者の一層の拡大に向けて、関連施設と連携したPRや、マウンテンバイク団体とのイベントやレースの実施等により、認知度向上を図る。
- ・マウンテンバイクの利用だけではなく、自然の魅力や未病の改善の重要性などを伝える施設として、独自性を高めていく。

株式会社T-FORESTRY



(コース整備の状況)



(整備後のコースの活用)